

大腸がん

大阪大学医学部附属病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名	医師数	当該疾患 を専門として いる医	
消化器外科	29	9	早期がんから進行がんまで症状に応じて最適な治療を行います。
消化器内科	13	13	消化器疾患の悪性腫瘍を広く診療対象にし、高度先進医療の実践を目標にしています。また、極めて質の高い医療技術を基盤とし、患者さまやご家族の考えを尊重する全人的な医療を心掛けています。
放射線治療科	4	1	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん

市立豊中病院

外科	19	3	北摂地域の癌拠点病院として手術治療を中心に主として大腸癌に対し包括的な治療を行っております。
消化器内科	14	5	胃腸脾疾患全般に対応し、緊急を要する疾患は救急科・外科・放射線科と連携し対処しています。患者様に負担が少ない内視鏡治療を積極的に行っており、大腸ポリープは日帰り手術も可能です。
放射線科	6	6	内科、外科等各科主治医との連携のもと、患者様の診断から治療までをトータルに考え、日々の診療に取り組んでおります。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			

市立池田病院

消化器内科	15	6	北摂地域の癌拠点病院として手術治療を中心に主として大腸癌に対し包括的な治療を行っております。
外科	11	4	胃腸脾疾患全般に対応し、緊急を要する疾患は救急科・外科・放射線科と連携し対処しています。患者様に負担が少ない内視鏡治療を積極的に行っており、大腸ポリープは日帰り手術も可能です。
			内科、外科等各科主治医との連携のもと、患者様の診断から治療までをトータルに考え、日々の診療に取り組んでおります。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

済生会吹田病院

消化器・乳腺外科	9	3	消化管領域と肝胆膵領域の医師がそれぞれ専門性をもって診療を行っています。ガイドラインに従って治療を行い、腹腔鏡手術(胆嚢・胃・大腸)、抗がん剤治療(胃・大腸・胆道系)を積極的に導入しています。抗癌剤治療は外来化学療法になります。患者さんのQOLに重点をおいて安全確実な治療を目指しています。
消化器内科	16	6	消化器内視鏡及び肝臓の専門医を中心にあらゆる消化器疾患に対応しています。食道・胃及び大腸の早期がんに対する内視鏡手術、肝がんに対するラジオ波焼灼療法やマイクロ波凝固法など、手術適応のない消化器がんに対する治療を行っています。消化器外科との連携のもと患者さんのQOLを第一に考えた治療(外科的手術、放射線療法、抗がん剤やステント挿入)を選択するようにしています。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

済生会千里病院

消化器外科	8	3	当院で手術になった場合、手術後の経過を早く良くするための取り組み(術後回復強化プログラム)を行い、体力のある患者さんなら、7日前後での退院を目指します。これは体に負担の少ない手術と最高の術前術後管理を行う医療チームによって実現されます。
消化器内科	9	9	外科との合同カンファレンスにより、外科治療、内視鏡治療、化学療法の適応を決定しています。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、盲腸がん

箕面市立病院

外科	8	2	常に安全で精度の高い手術を心がけ、海外・国内のガイドラインに沿った手術や化学療法でがんの根治を目指します。
内科	22	6	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

大腸がん

市立吹田市民病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名	医師数	当該疾患 を専門として いる医	
外科	12	2	
消化器内科	9	7	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

大阪医科大学附属病院

消化器外科	5	5	腹腔鏡下手術を中心に患者さんの病態に応じた適切な治療を行います。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			
消化器外科	6	6	早期がんを中心に腹腔鏡手術や消化器内科と連携してESDの実施など、低侵襲手術を進めています。直腸がん、やむを得ず人工肛門造設を余儀なくされた症例に対しては、WOC看護師とともに、ストマ外来で十分フォローアップし、心身のケアに努めています。
消化器科	5	5	当院は、大腸ESDの先進医療施行施設として許可を受けており、早期大腸がんの治療のすべての選択枝（EMR、ESD、腹腔鏡手術）が施行可能となっています。このため、病変の形状、部位、内視鏡の操作性を考慮し、症例に応じて、最適な治療を選択して加療できます。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、直腸S状結腸がん、肛門管がん、肛門直腸がん

愛仁会高槻病院

消化器外科	7	2	大腸癌治療ガイドラインに従って治療方針を決定。腹腔鏡下手術を含めた、進行度にあわせて適切な術式を選択します。肝・肺に転移がある場合も手術・化学療法で積極的な治療を行います。直腸癌に対しては人工肛門や二期的手術をできるだけ回避します。
消化器内科	13	9	早期消化器がんに対するEMRやESDなどの内視鏡治療、消化器がんに対する化学療法、肝臓がんに対するカテーテル治療やラジオ波凝固療法 など積極的に治療に取り組んでいます。
放射線治療科	1	1	主診療科と密接な連携を図り、標準的な治療の遂行と同時に、最後まであきらめない治療スタンスを取っています。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			各結腸がん、直腸がん

北摂総合病院

消化器内科	5	5	専門医に加え、医療スタッフも手厚く配置しており、きめ細やかな診療を提供します。
一般・消化器外科	4	4	専門医に加え、医療スタッフも手厚く配置しており、きめ細やかな診療を提供します。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			直腸がん、結腸がん 等

関西医科大学附属枚方病院

消化器外科	23	4	腹腔鏡下手術を積極的に導入。化学療法も行っているため、集学的治療を行いやすい。（外科治療＋化学療法のコンビネーションセラピーが施行可能。）
消化器内科	16	6	消化管・肝・胆・膵にわたりあらゆる消化器領域疾患を対象にしています。それぞれエビデンスに基づいた医療を実践するとともに、高度で先進的な医療についても積極的に取り組んでいます。
放射線科治療科	18	2	リニアック、新型コバルトによる高線量率小線源治療装置および小線源放射線治療計画専用CTを保有し高精度の放射線治療を実現しています。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん、大腸GIST

松下記念病院

外科	11	8	
消化器科	9	3	早期大腸がんに対しては、的確な深達度診断の基に、積極的な内視鏡治療を行っています。
放射線科	1	1	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がんなど

大腸がん

星ヶ丘厚生年金病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名	医師数	当該疾患 を専門として いる医	
外科	9	9	大腸がんの治療法として、内視鏡治療、手術、化学療法、放射線療法などがあり、当科では手術を中心に治療を行っています。当科の特色は低侵襲である腹腔鏡下手術を積極的におこなっていることです。 当科の手術年間手術症例は約60例で、増加傾向にあります。粘膜もしくは浅い粘膜下層浸潤がんは当院消化器科において内視鏡治療が可能です。やや深い粘膜下層に浸潤したがんは約10%にリンパ節転移を認めるため、当科で外科的追加切除を行います。手術では腸管と転移の可能性のある周囲リンパ節を一括切除します。手術方法として開腹手術と数箇所の小さな穴をあけてカメラや切除器具を挿入して行う腹腔鏡下手術があります。当院では2001年から低侵襲である腹腔鏡下手術を積極的に導入しており、現在、大腸癌手術の約半数を腹腔鏡下手術が占めています。腹腔鏡下手術では傷が小さく、手術後の痛みが軽く、早期退院や早期社会復帰ができ、さらに、その拡大視効果によって精密で繊細な手術を施行しています。 一方、近年、大腸癌に対する化学療法の進歩は目覚ましく、外来通院で多剤併用による化学療法を積極的に施行しており、治療成績は年々向上しています。骨盤内再発や脳・骨に転移した場合には放射線療法も行っています。放射線科と協力しながら化学療法を併用するなど、高度進行癌に対して集学的な治療をおこなっています。
消化器科	4	4	
放射線科	2	2	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、盲腸がん、虫垂がん、直腸カルチノイド

東大阪市立総合病院

外科	9	3	日本消化器外科学会認定の消化器外科専門医、日本大腸肛門病学会認定の大腸肛門病専門医が在籍しています。 腹腔鏡手術を第1選択としています。
消化器内科	8	3	日本消化器病学会消化器病専門医、消化器内視鏡学会指導医が在籍しています。早期がんに対する内視鏡的粘膜切除術(ESD,EMR)など上部消化管・大腸内視鏡を用いた治療手技を外科と協力して積極的に行っています。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門がん

八尾市立病院

外科	14	2	当科では、腹腔鏡手術を積極的に行っており、根治性を損なわず、より低侵襲な手術を心がけております。また、直腸がんに対しても、肛門温存手術を積極的に導入しています。進行性大腸癌においては、転移巣切除、放射線治療、化学療法を組み合わせた就学的治療を行い、患者様の予後改善に努めております。
消化器内科	7	7	
腫瘍内科	3	3	
放射線科	2	2	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、大腸カルチノイド、大腸がん、大腸多発性ポリープがん、直腸S状結腸がん、直腸がん、直腸カルチノイド、肛門がん、肛門管がん

八尾徳洲会総合病院

外科	8	8	
消化器内科	2	2	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸癌、直腸癌、肛門管癌

若草第一病院

消化器内科	3	3	内視鏡治療などがんに対して積極的かつ迅速な対応を行っております。
外科	5	5	手術中の迅速病理組織診断を行うことができます。より侵襲性の少ない手術を心がけております。
放射線科	3	3	平成23年8月よりリニアックが再稼動となりました。各診療科と連携し治療を行います。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			大腸がん、直腸がん、結腸がん

大腸がん

近畿大学医学部附属病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名	医師数	当該疾患 を専門とし ている医	
放射線治療 科	8	4	肛門管がんは放射線治療科で肛門を残すことができます。
腫瘍内科	20	20	
外科(内視 鏡)	2	2	
外科(下部消 化管)	6	6	最新の診断技術を利用したがんの進行度に応じた適正な手術
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			直腸がん、肛門管がん、結腸がん

国立病院機構
大阪南医療センター

消化器科	10	10	
外科	10	4	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸癌、直腸癌、肛門管癌

富田林病院

外科	6	1	
内科	14	1	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

大阪労災病院

外科	18	4	ガイドラインに準じエビデンスに基づいた治療を実施し症例に応じて腹腔鏡手術を積極的に導入
消化器内科	12	5	低侵襲で確実な切除を心がけている
放射線治療 科	1	1	切らずに形や機能を温存したまま”がん”を治療
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん

ベルランド総合病院

消化器内科	10	10	
外科	15	15	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、

市立堺病院

外科	14	2	それぞれの臓器特有の専門的な知識と難易度の高い手術に対応できる技術を持った医師による高度な医療水準の治療を受けることが可能です。
消化器内科	8	4	地域の開業医の先生(かかりつけ医)や他病院との連携を強めながら、消化器疾患全般の診療を幅広く行っており、ほとんどの消化器疾患に対応できる体制をとっています。
放射線治療 科	1	1	QOLを良好に保ちながら状況に応じた的確な治療を受けていただくとともに、わかりやすい説明を心がけています。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門がん、虫垂がん

市立岸和田市民病院

外科	6		ガイドラインに沿った標準治療を行っています。
消化器内科	10	10	
腫瘍内科	3	3	
放射線科 (放射線治 療)	4		
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

大腸がん

りんくう総合医療センター

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名	医師数	当該疾患 を専門として いる医	
外科	10	3	りんくう総合医療センター外科は昭和27年開設以来、一般外科、消化器外科、内分泌外科(甲状腺・乳腺)、小児外科、肺縦隔外科(2005年4月より呼吸器外科として独立)の診療を行ってきました。過去56年の実績を基に、現在は大阪大学消化器外科、乳腺内分泌外科、小児外科学教室と、スタッフの派遣のみならず診療、研究、教育の各分野で密に交流しています。
消化器内科	1	1	消化器病全般の診断・治療を行っています。現在は常勤スタッフが内視鏡専門医ですので、特に上部・下部・胆道系内視鏡検査と治療に力をいれています。肝疾患については、非常勤専門医による外来(現在、木・金)を行っています、充実へむけて調整中です。
放射線科	1	1	りんくう総合医療センターの開設に伴い新しい診療科として診療を始めました。最新の放射線診療機器をそろえた中央放射線部の中心的な働きを行う診療科です。診療業務として放射線画像診断、放射線治療、カテーテル治療を行います。病診連携を軸に放射線外来診療を行います。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん、早期大腸がん

府中病院

外科	9	2	内視鏡外科技術認定医のもと腹腔鏡手術を積極的に取り組んでいます。現在、放射線治療に関しては協力医療機関にて施行してるが、平成24年6月より当院でも治療可能。
消化器内科	11	11	現在、放射線治療に関しては協力医療機関にて施行してるが、平成24年6月より当院でも治療可能。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			盲腸がん、上行結腸がん、横行結腸がん、下行結腸がん、S状結腸がん、直腸S状結腸移行部がん、直腸がん、肛門管がん

泉大津市立病院

外科内視鏡 外科	7	7	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			

岸和田徳洲会病院

外科	5	5	
消化器内科	5	5	
放射線科	1	1	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

市立貝塚病院

内科	5	0	大腸癌治療ガイドラインに準じて治療を行っています。
外科	8	2	早期大腸癌に対しては内視鏡的治療(EMR)および腹腔鏡下手術を適切に使い分けていますが、進行大腸がんについても基準を設けて腹腔鏡下手術を行っています。術後補助化学療法および高度進行、再発例に対する化学療法などは基本的にはガイドラインに沿った治療を行っています、各種臨床試験にも参加しており、なるべく最新の治療を受けていただけるようにしています。
放射線科	4	1	局所進行、切除不能直腸がんに対して、術前化学放射線療法を施行しています。直腸がん局所再発に対する緩和的照射も積極的に行います。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん

和泉市立病院

外科	7	2	がんの進行度に応じて、開胸・開腹手術と侵襲の小さな内視鏡下手術を行っています。
腫瘍内科	4	1	専門医を中心にがん薬物療法専門医、薬剤師、放射線治療専門医でチーム医療を実践します。
放射線科	3	1	患者様のQOL向上につながる適切な治療を放射線科の理念とし、的確な診断と患者様に優しい治療を心がけています。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

大腸がん

大阪市立総合医療センター

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名	医師数	当該疾患 を専門として いる医	
消化器外科	14	4	
消化器内科	9	8	当該疾患を専門としている医師数の化学療法については4名
臨床腫瘍科	5	5	
放射線腫瘍科	3	3	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん

淀川キリスト教病院

外科	14	5	
消化器内科	15	7	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん 直腸がん 肛門管がん

済生会中津病院

外科	8	6	年間約200例の大腸癌手術を行っており、(直腸癌では、根治性と機能温存(排尿・性機能温存)を追求しており、特に肛門機能を温存した超低位前方切除を多数行っています。
消化器内科	13	6	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん

北野病院

消化器内科	19	3	NBI及びクリスタルバイオレット染色による拡大観察を用いて、SM1までの大腸癌に対してESD等で積極的に内視鏡治療を行っています。又、進行大腸癌に対しては積極的に化学療法を行い、肝転移症例でも切除可能症例は消化器センター外科と連携して外科的治療を行っています。
消化器外科	10	4	年間約140例。技術的に腹腔鏡下アプローチが可能な症例は、進行度に関わらず腹腔鏡補助下大腸切除の適応としている。大きな予後規定因子である肝転移に対しては、積極的な肝切除、肝切除後の再発防止や切除不能肝転移症例に対しては、FOLFOX、FORFILIを中心とした化学療法を施行している。
放射線科	8	2	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管癌

住友病院

消化器内科	6	5	当科では消化器に関する多くの疾患に対応出来るよう、スタッフそれぞれの専門性を活かし、レベルの高い臨床をめざしています。外科・放射線科との緊密な協力体制のもとに診断・治療を行っています。
消化器外科	11	8	当科では癌の進行度に応じて、内視鏡的治療、手術治療、化学療法や免疫治療などから最も効果的な治療法を選択し、症例に応じてそれらを組み合わせで行っています。
放射線科	5	1	このたび住友病院では、最新、最高峰の直線加速器「CLINAC iX」(米国Varian社製)を導入いたしました。これにより今日の最先端である様々な高精度放射線治療が可能となります。最新の装置を用い、放射線治療を受ける患者様の負担をできるだけ軽減しつつ、最大限の効果をもたらすような治療を常に目指していきたいと考えております。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			大腸がん(結腸がん)、直腸がん

大腸がん

大阪府立成人病センター

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名	医師数	当該疾患 を専門とし ている医	
消化管内科	6	6	日本消化器内視鏡学会指導施設ならびに同学会近畿支部局として、消化器内視鏡分野における日本でも有数の情報発信施設の役割を担っています。特に消化管がん(食道、胃、大腸)の内視鏡治療に関しては常に日本のトップクラスの成績を上げています。
消化器外科	12	3	直腸癌に対する肛門温存手術を積極的に行っている 局所再発や肝臓転移例にも集学的治療を行っている
臨床腫瘍科	4	4	がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん化学療法認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師らによる定期的なカンファレンスを開催し、臓器横断的のみならず職種横断的なチーム医療を実践しています。
放射線治療科	6	2	近年の放射線治療の急速な進歩を背景にさまざまな高精度照射を導入し、がんの3大治療(外科手術、化学療法、放射線治療)の1つとして院内では他科と協同して集学的治療の一端を担う一方、病々連携、病診連携を通じて院外のがん患者さんの治療も積極的に受け入れております。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がんなど

国立病院機構
大阪医療センター

消化器外科	12	12	大腸癌手術、特に専門領域である直腸癌の手術経験が多く、大腸癌の累積手術数は4300例以上で全国トップクラスです。外科は手術が専門ですが当院の大腸外科は、手術から転移再発癌に対する化学療法まで一貫した専門診療を行っているのが特徴です。手術以外の治療オプションを多く持っているため、治療方針決定の際に手術に偏らない判断が可能となっています。
消化器内科	4	4	近年、日本人における大腸癌患者数の増加は周知の通りです。いまや大腸ポリープ・早期大腸癌については、腫瘍の表面の模様(pit)を特殊な色素で染色し拡大内視鏡で観察することで、切除する前からある程度の悪性度(癌かそうでないか)、深達度(内視鏡で切除可能かどうか)判断できるようになっています。また、小さな病変であれば、検査・治療は外来で受けていただいて、経過観察のため1泊入院するだけで治療を終了することもあります。また大腸癌に対する抗癌剤の治療は化学療法の分野で最もめざましいものがあります。当科では、これらに対応した診療を行っています。
放射線治療科	2	2	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がんなど

大阪赤十字病院

消化器科	28	23	外科の連携の上、早期例においては先ず内視鏡治療を行っており、ESDも積極的に施行しています。進行例で切除不能例に対しては化学療法を施行しています。
外科	22	8	腹腔鏡下手術の積極的導入と性機能や排尿機能の障害を少なくするべく、自律神経温存を基本としています。また、人工肛門を避ける手術も行っています。
放射線治療科	2	2	高精度放射線療法を用いた癌根治療法を積極的に行っています。放射線治療の効果を最大限に引き出しながら、患者さまへの負担を最小限に抑えるためにRapid Arc(回転しながら行うIMRT)による治療も開始しました。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん

済生会野江病院

消化器内科	8	2	
外科	4	4	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がんなど

大手前病院

消化器内科	8	4	
消化器外科	8	4	腹腔鏡手術を取り入れ、再発例にも新規治療を積極的に行ないます
放射線科	1	1	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

大腸がん

大阪警察病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名	医師数	当該疾患 を専門とし ている医	
外科	10	3	大腸癌手術の約60%は腹腔鏡補助下に行っており、創も約5cmと小さく低侵襲で、早期退院が可能です。進行大腸癌に対しても腹腔鏡下手術で十分なリンパ郭清を伴う根治手術が可能で、積極的に行っています。
消化器内科	8	7	
放射線治療科	2	2	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん

NTT西日本大阪病院

消化器外科	8	4	肝転移や肺転移も積極的に切除することにより生存率の向上を目指しています。進行大腸がんの術後補助化学療法、手術不能例での化学療法、放射線療法も個々の症例に応じて最適な方法を選択するようにしています。
消化器内科	6	6	充実したクリニカルパスの導入で、早期退院が可能となり患者様にも喜んでいただいています。
放射線治療科	2	2	当院には、外科、内科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、整形外科などに、がん治療のエキスパートが多いため、これらの科と連携して、放射線、手術、化学療法、それぞれの治療法の長所を組み合わせたチーム医療が可能です。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がんなど

愛仁会千船病院

外科	5	3	大腸がんに対しても、適応を厳密にした上で腹腔鏡を用いて手術を行っており、手術後の痛みの減少や早い社会復帰に貢献しています。
消化器内科	4	4	当院に導入された超音波内視鏡専用機は電子ラジアル超音波内視鏡といい、一般臨床病院での配備は日本国内でも数えるしかない最新機器を配備しております。消化管早期悪性腫瘍の内視鏡的切除を行っております。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん、盲腸がん

大阪厚生年金病院

消化器外科	15	4	
消化器内科	33	6	専門医指導の下にチーム医療を推進し、患者さんに優しい医療を目指して努力・研鑽しています。
放射線治療科	6	1	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸癌、直腸癌、肛門管癌

関西電力病院

外科	9	9	腹腔鏡下手術、化学療法に力をいれています。
消化器内科	8	6	
放射線治療科	1	1	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

日生病院

消化器内科	4	3	ポリープ、隆起性の粘膜がんに対して、EMRを実施しています。
消化器外科	5	3	開腹または腹腔鏡手術による切除から、化学療法、緩和療法まで一貫した治療を行っています。肝転移、肺転移を伴う場合も積極的に治療しています。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、盲腸がん、回盲部がん

きっこう会多根総合病院

外科	15	5	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			

大腸がん

大阪市立大学医学部附属病院

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			各診療科における 当該疾患の治療の特色・ 患者さんへのメッセージなど
主な診療科名	医師数	当該疾患 を専門とし ている医	
消化器内科	16	5	EMRによる早期大腸癌切除、標準的化学療法が可能です。
2外食道(肝 胆膵外科)	7	3	
放射線治療 科	5	3	
消化器外科	31	4	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

景岳会南大阪病院

外科	6	5	
放射線科	1	1	
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			直腸がん(4)、肛門がん(1)、結腸がん、肛門管がん

府立急性期・総合医療センター

消化器内科	12	8	消化器内科は消化器領域の救急疾患および高度医療を要する(難治性疾患や癌など)の疾患を中心にしながら幅広く診療しています。
外科	17	6	・頸・胸・腹部臓器疾患のうち外科的処置を必要とする疾患を対象としています。 ・「大阪府がん診療連携拠点病院」として、がんの診断と治療を行っています。 ※ 関係各科および部署(画像診断科、消化器内科、呼吸器内科、放射線治療科、頭頸部外科(耳鼻咽喉科)、病理科など臨床腫瘍医を含む腫瘍部門)との協議のもとに、治療方針を決定しています。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がんなど

大阪鉄道病院

外科	8	3	臓器機能の温存を追及するほか、低侵襲治療としての腹腔鏡下手術を積極的に取り入れるなど、患者さんの術後のQOLの向上に重点を置いた治療に努めています。また、術後の再発や切除不能症例に対する化学療法や緩和ケアについては、可能なものは外来で実施しています。
消化器内科	7	4	消化器がんについては、他の診療科と連携し、患者さんのQOLを重視した、低侵襲な治療を心がけています。
放射線科	2	2	放射線治療は、がんに対する集学的治療として他の診療科と連携しながら実施します。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん

東住吉森本病院

内科	12	3	年間2000件を超える下部消化管内視鏡検査を実施しています。大腸がんの早期発見はもとより、ポリープ切除やEMRなどの内視鏡的治療を積極的に行っています。
外科	7	5	大阪市大消化器外科、がん研有明病院消化器病センター医師の定期的な技術指導を受け、平成19年より腹腔鏡下大腸がん手術を実施しています。
昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成22年1月1日～12月31日			結腸がん、直腸がん、肛門管がん